

# 【どこでもデータBOX】データをサーバーに保存する バックアップをとっておく

## どこでもデータBOXとは

データを自動でクラウド保存する新機能です。

パソコントラブルの備えに、複数PCでのデータの共有に、PC入替時の物件データ移行作業からの解放にと、益々便利にお使いいただけます。

### ◎ □□□の特徴



#### 1 自動バックアップ機能

物件を終了するたびに物件をサーバーへアップロードいたします。そのため、バックアップのためにコピーする必要がありません。

**利点はこんなとき！**

新しいパソコンへの移行したときは必要な物件だけ□□□から呼び出すことができます！データをわざわざ移しかえる必要がありません！

**利点はこんなとき！**

万一のときの対策としても活躍！



パソコンが突然壊れた！ウイルスに感染した！  
というときも拾い出しデータは安全です！

## 2 物件内部材登録機能

ダウンロードした物件は部材データが物件専用の部材データになります。  
物件を開き、【物件設定】画面より部材登録が行えます。

保管は1GBまで無償です□10GBまで月額1000円（税別）でご契約いただけます。

□Windows Vista以降のOSのみ対応です。

ご利用になるにはインターネット環境が必要です。

# どこでもデータBOXの設定方法

まずは、どこでもデータBOXの設定を行きましょう。

この設定は、物件を作成するPC□データを受け取りたいPCのどちらも必要です□  
タイトル画面から【カスタマID設定】を開きます。



カスタマID□「どこでもデータBOXを使用する」チェック・パスワード  
の3点を設定してください。

※番号はサンプルです

カスタマID 999999

自動アップデート  
 起動時に更新を確認する 接続テスト

どこでもデータBOXアップロード用  
 どこでもデータBOXを使用する

パスワード \*\*\*\*\* | 接続テスト

パスワードを表示する

パスワードの初期設定はお客様登録確認書を参照してください。  
パスワード変更はこちら

どこでもデータBOXご利用規約

プロキシ設定 OK キャンセル

カスタマIDやパスワードは導入時にお渡ししているお客様情報登録完了書(ピンクの用紙)に記載しています。  
2023年3月1日、セキュリティ強化の観点からどこでもデータBOXのパスワード変更が一斉に実施されました。  
2023年2月以前にソフトを導入されているお客様は、「どこでもデータBOXパスワード変更のご案内」をご確認ください。  
不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

OKボタンで画面を閉じると、利用規約同意画面が出ますので、「同意する」チェックを入れ「OK」をクリックしてください。

利用規約

### どこでもデータBOX利用規約

#### 第1条 (利用規約の適用)

- 本規約は、利用者(第2条に定める)が、サンユー販売株式会社(以下「当社」という)が提供するどこでもデータBOX(以下「本サービス」という)を利用するにあたり必要な条件を定めることを目的とします。
- 利用者は、本規約を遵守して本サービスを利用するものとし、本規約に同意できない場合、本サービスの利用はできません。

#### 第2条 (用語の定義)

本規約における用語の定義は、別段の記載がない限り、以下のとおりとします。

- 「本サービス」  
ネットワークを通して当社が提供する「どこでもデータBOX」というクラウドサービスであり、当社が開発した対象ソフト(以下、対象商品という)に関するデータの保管、および対象商品の円滑なシステム運用を目的とします。
- 「利用者」  
本規約に同意のうえ、本サービスを利用する者すべてをいいます。
- 「保守契約」  
本サービスを利用する対象商品の保守契約であって、本サービスを利用する際、現に当社と利用者の間に締結されているものをいいます。保守契約は、対象商品の導入から発生する保証期間および保証期間終了後に加入

どこでもデータBOXの利用規約に同意する。 OK キャンセル

これで設定完了です！

# アップロード方法

どこでもデータBOXを設定した直後は、ローカルの物件データが全てアップロードされるわけではありません。

どこでもデータBOXをご利用の際、物件の入力画面を開き、【終了】で閉じたタイミングでアップロードされます。

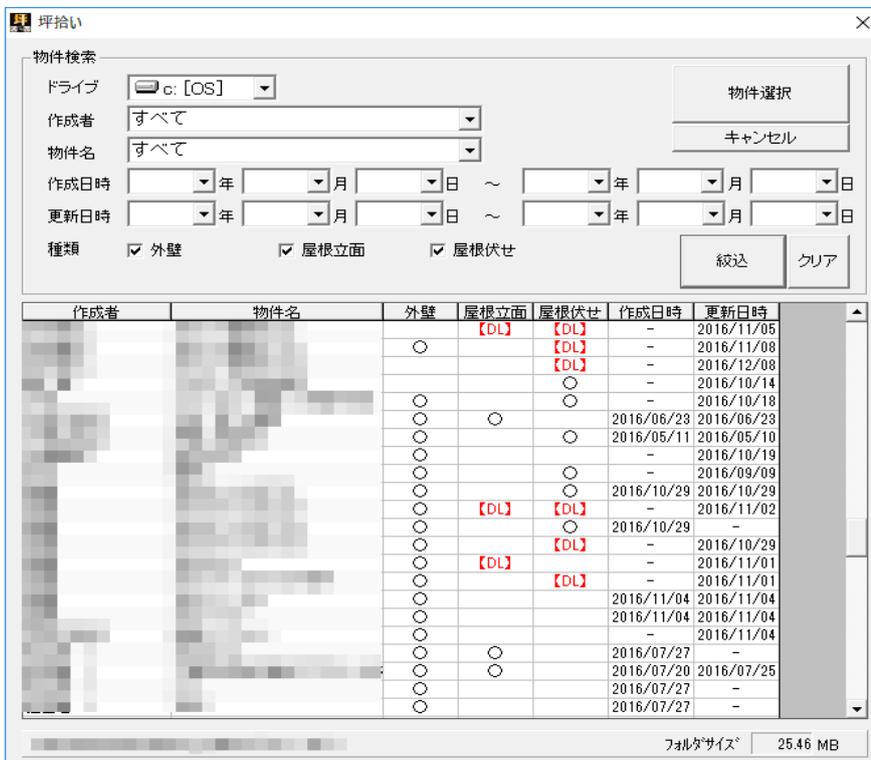
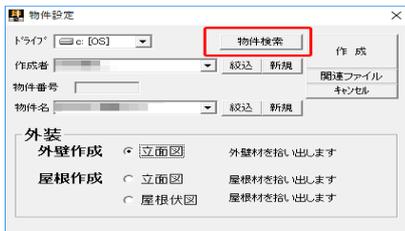


図面保存だけをした状態で、【閉じる】で終了してしまうとアップロードされません。必ず入力画面まで入るようにしてください。



## 他のPCからデータをダウンロードする方法

1. 【スタート】ボタンをクリック。
2. 【物件検索】ボタンをクリック。



別のパソコンで作成されたデータを含む物件の一覧が表示されます。

「○」は自分のパソコンで作成したデータ、

□□DL□□は他のパソコンで作成したデータがあることを意味しています。

目的の物件をクリックで選択し、【物件選択】ボタンをクリック。

物件設定画面に戻ると、選択した物件情報が入っていますので、【作成】ボタンで進んでください。

呼び出しできるのはどこでもデータBOXの利用設定をした後に拾い出し（アップロード）をした物件データのみになります

## 関連記事

坪拾い・平兵衛くん共通

□どこでもデータBOX設定ができない場合

□DDBOX□どこでもデータBOX□利用時の【関連ファイル】の使い方

坪拾い

□部材登録を反映させる方法